

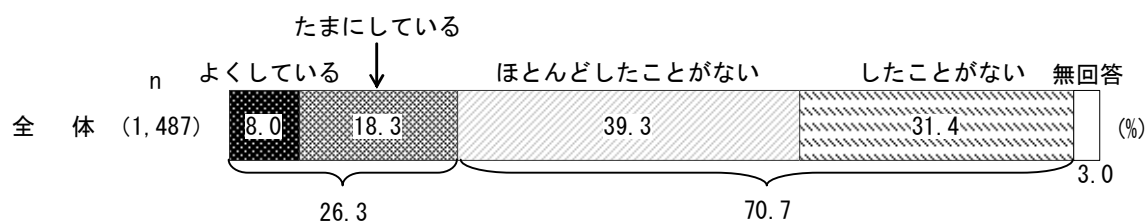
4 障害者施策について

(1) 障害のある人に対する支援

◇『している』が2割台半ば

問11 あなたは障害のある人に対する支援をしたことがありますか。(○は1つ)

<図表4-1>障害のある人に対する支援



障害のある人に対する支援について聞いたところ、「よくしている」(8.0%)、「たまにしている」(18.3%)を合わせた『している』(26.3%)は、2割台半ばとなっている。一方「ほとんどしたことがない」(39.3%)、「したことがない」(31.4%)を合わせた『したことがない』(70.7%)は7割となっている。(図表4-1)

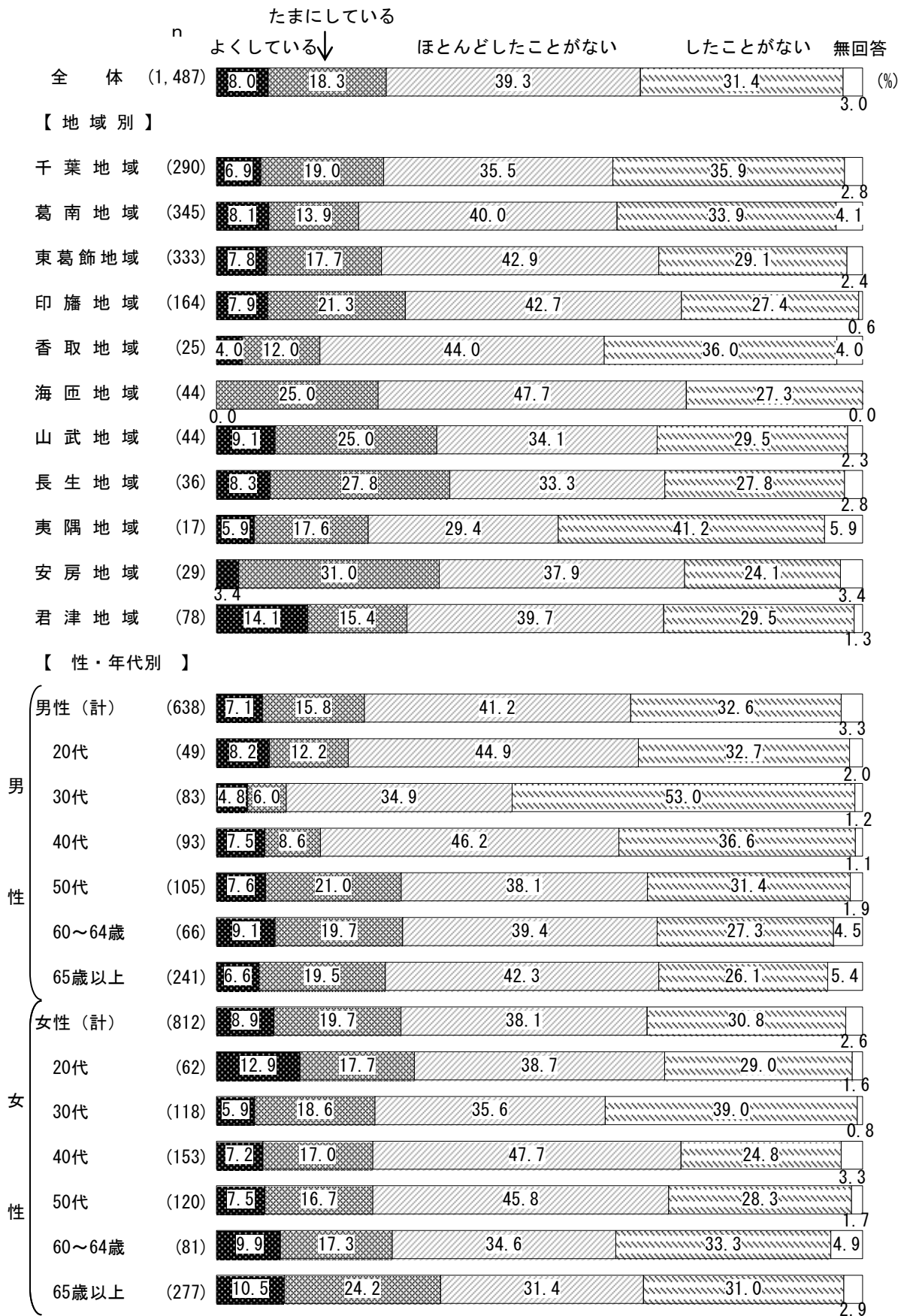
【地域別】

地域別にみると、『している』は“長生地域”(36.1%)が最も高く、次いで“安房地域”(34.5%)、“山武地域”(34.1%)で、いずれも3割台半ばとなっている。(図表4-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『している』は女性の65歳以上(34.7%)が3割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。(図表4-2)

<図表4-2>障害のある人に対する支援/地域別、性・年代別

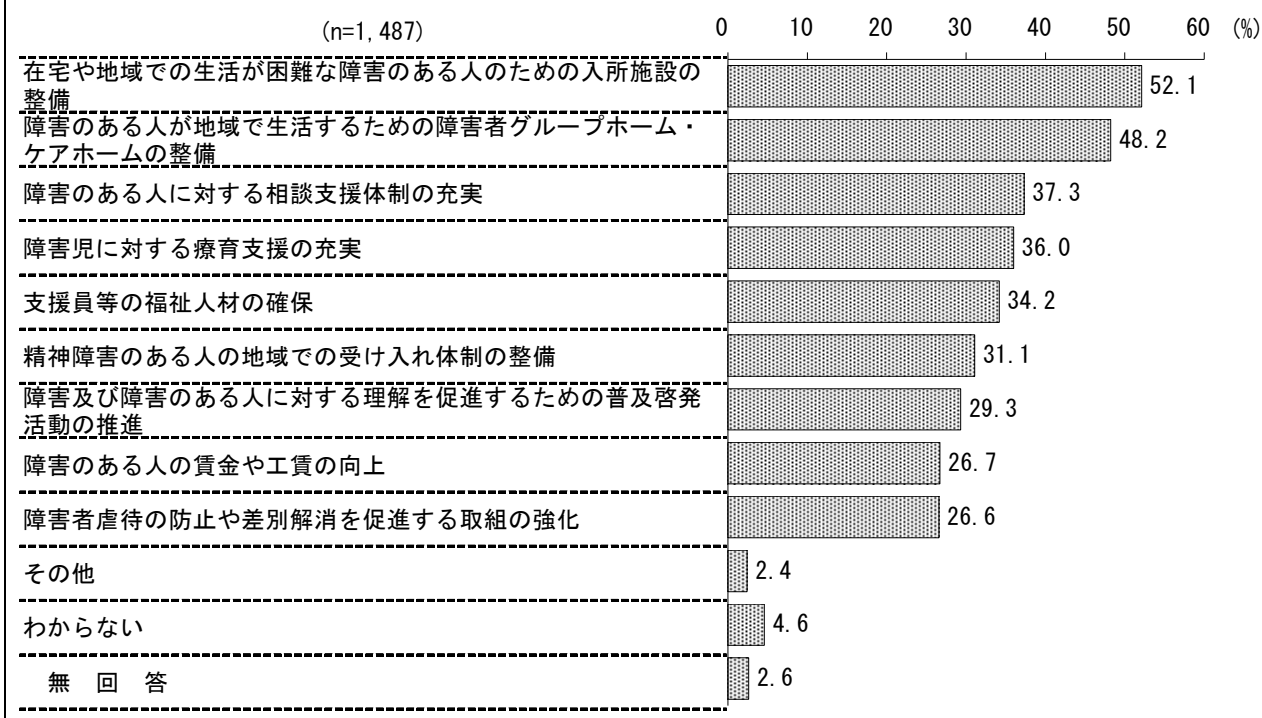


(2) 今後、障害のある人に対する支援として必要な取組

◇「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」が5割を超える

問12 あなたが、今後、障害のある人に対する支援として必要だと思う取組は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

<図表4-3> 今後、障害のある人に対する支援として必要な取組



今後、障害のある人に対する支援として必要な取組を聞いたところ、「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」(52.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「障害のある人が地域で生活するための障害者グループホーム・ケアホームの整備」(48.2%)が約5割、「障害のある人に対する相談支援体制の充実」(37.3%)が約4割と続いている。(図表4-3)

【地域別】

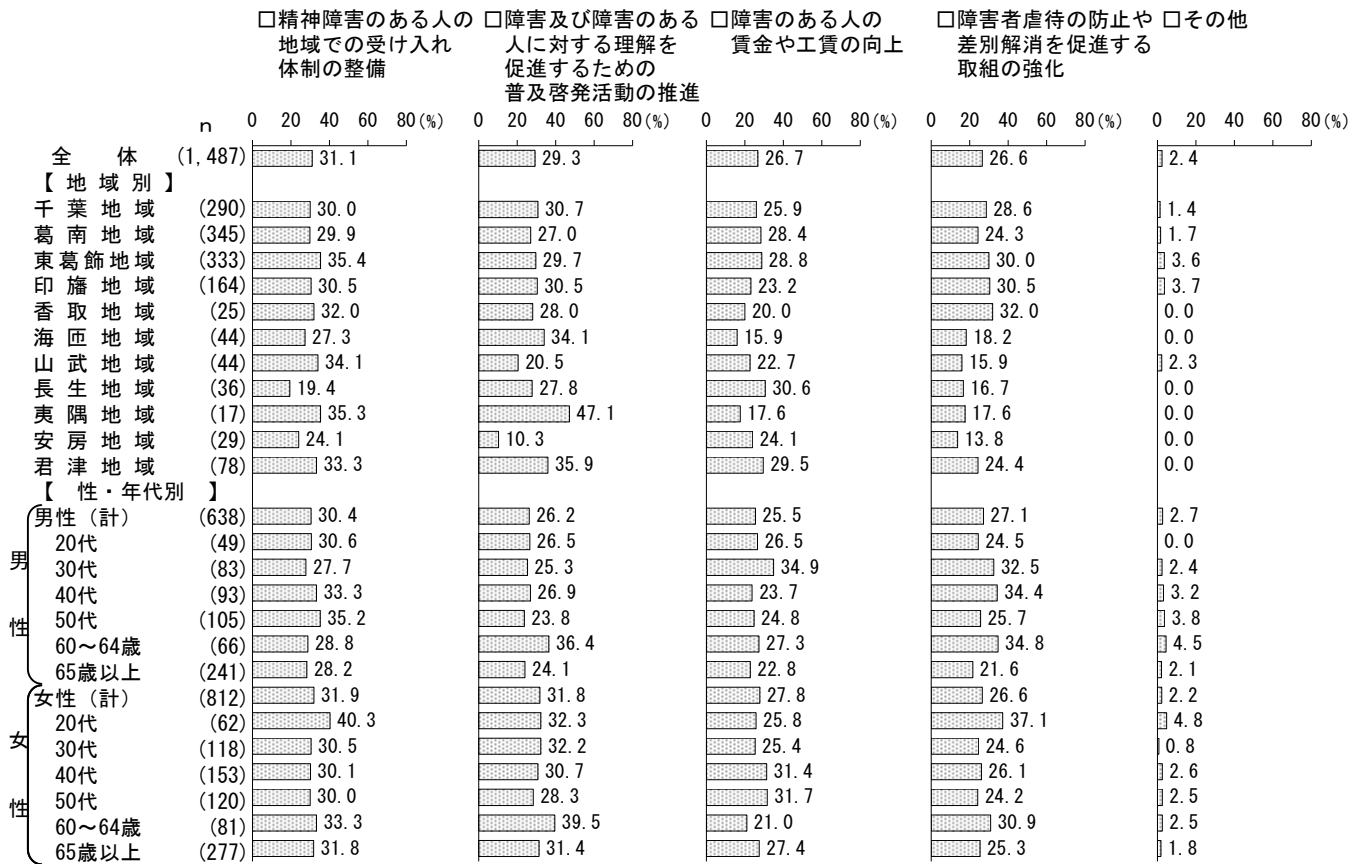
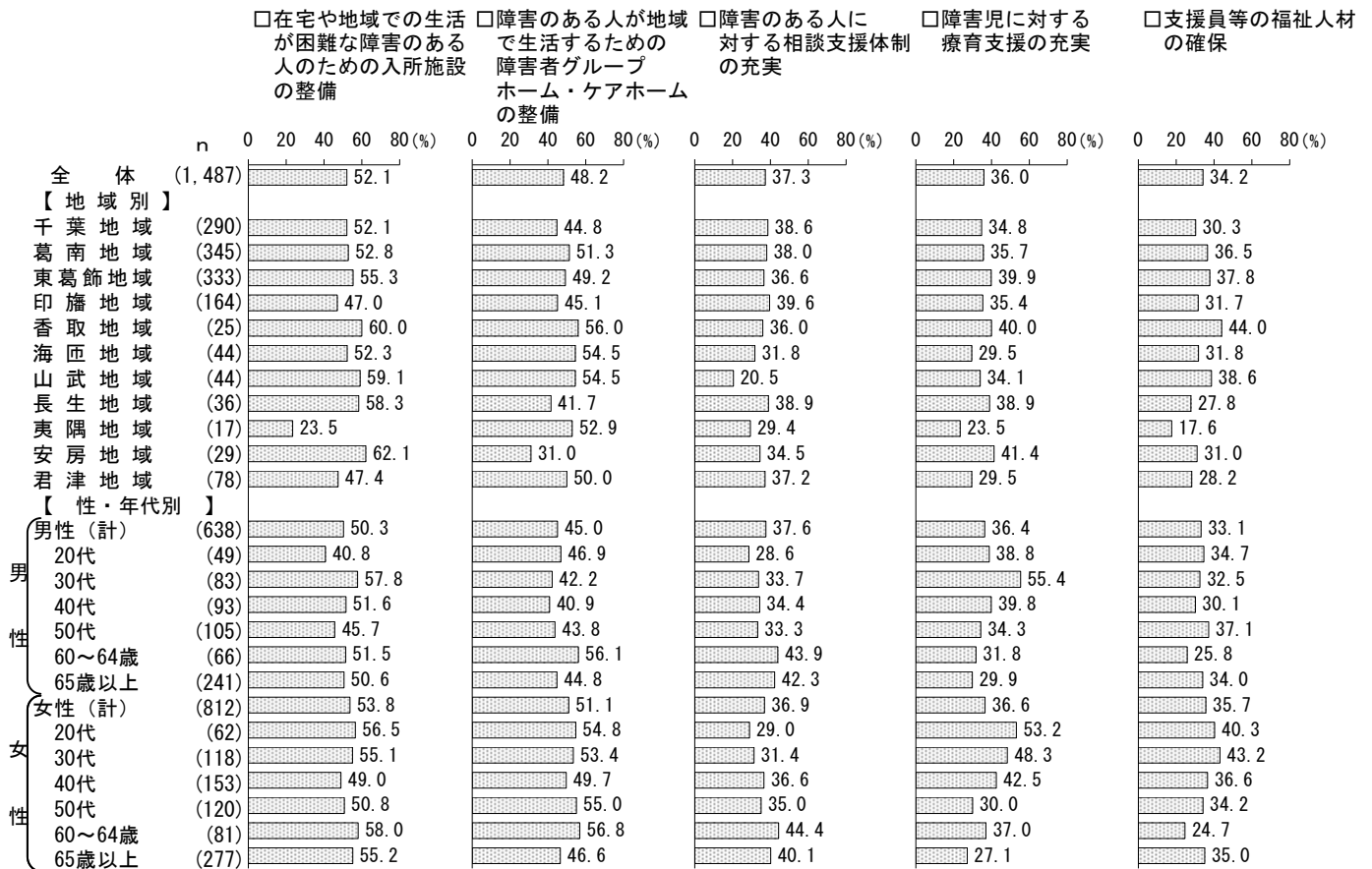
地域別にみると、「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」は“安房地域”(62.1%)、“香取地域”(60.0%)が6割以上で他の地域に比べ高くなっている。「障害のある人が地域で生活するための障害者グループホーム・ケアホームの整備」では“香取地域”(56.0%)、“海匝地域”“山武地域”(ともに54.5%)が5割台半ばとなっている。(図表4-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「在宅や地域での生活が困難な障害のある人のための入所施設の整備」は女性の60～64歳(58.0%)、男性の30代(57.8%)が約6割と他の年代に比べ高くなっている。

(図表4-4)

<図表4-4> 今後、障害のある人に対する支援として必要な取組／地域別、性・年代別

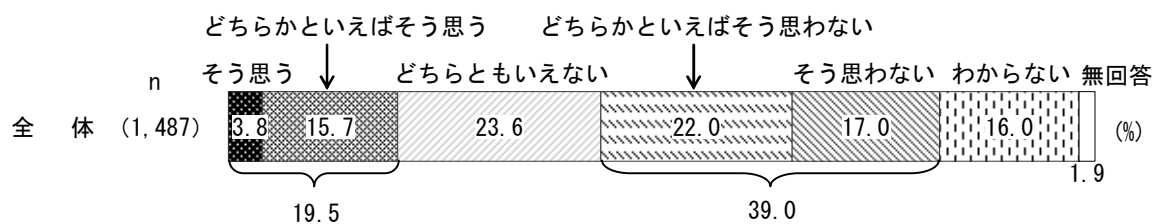


(3) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくり

◇『そう思う』が約2割

問13 あなたは障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。(○は1つ)

<図表4-5>障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくり



障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて聞いたところ、「そう思う」(3.8%)、「どちらかといえばそう思う」(15.7%)を合わせた『そう思う』(19.5%)は、約2割となっている。一方「どちらかといえばそう思わない」(22.0%)、「そう思わない」(17.0%)を合わせた『そう思わない』(39.0%)は約4割となっている。(図表4-5)

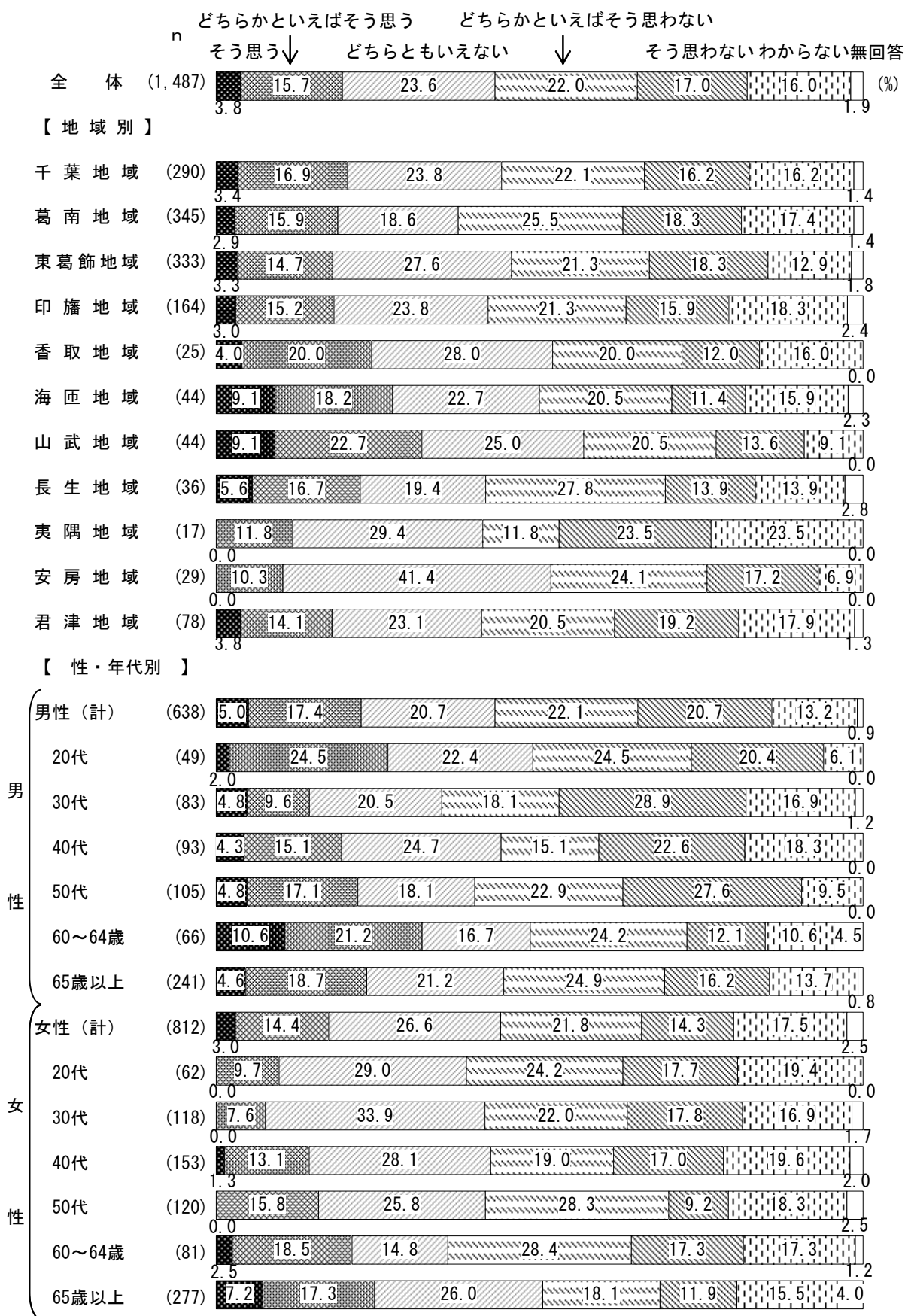
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“山武地域”(31.8%)が3割を超え他の地域に比べ高く、次いで“海匝地域”(27.3%)が約3割となっている。(図表4-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の60~64歳(31.8%)が3割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表4-6)

<図表4-6>障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくり／地域別、性・年代別



(4) 障害を理由とする差別や偏見の有無

◇「あると思う」が約5割

問14 あなたは世の中には障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)

<図表4-7>障害を理由とする差別や偏見の有無



障害を理由とする差別や偏見の有無を聞いたところ、「あると思う」(47.3%)が約5割、「少しはあると思う」(44.3%)は4割台半ばとなっている。(図表4-7)

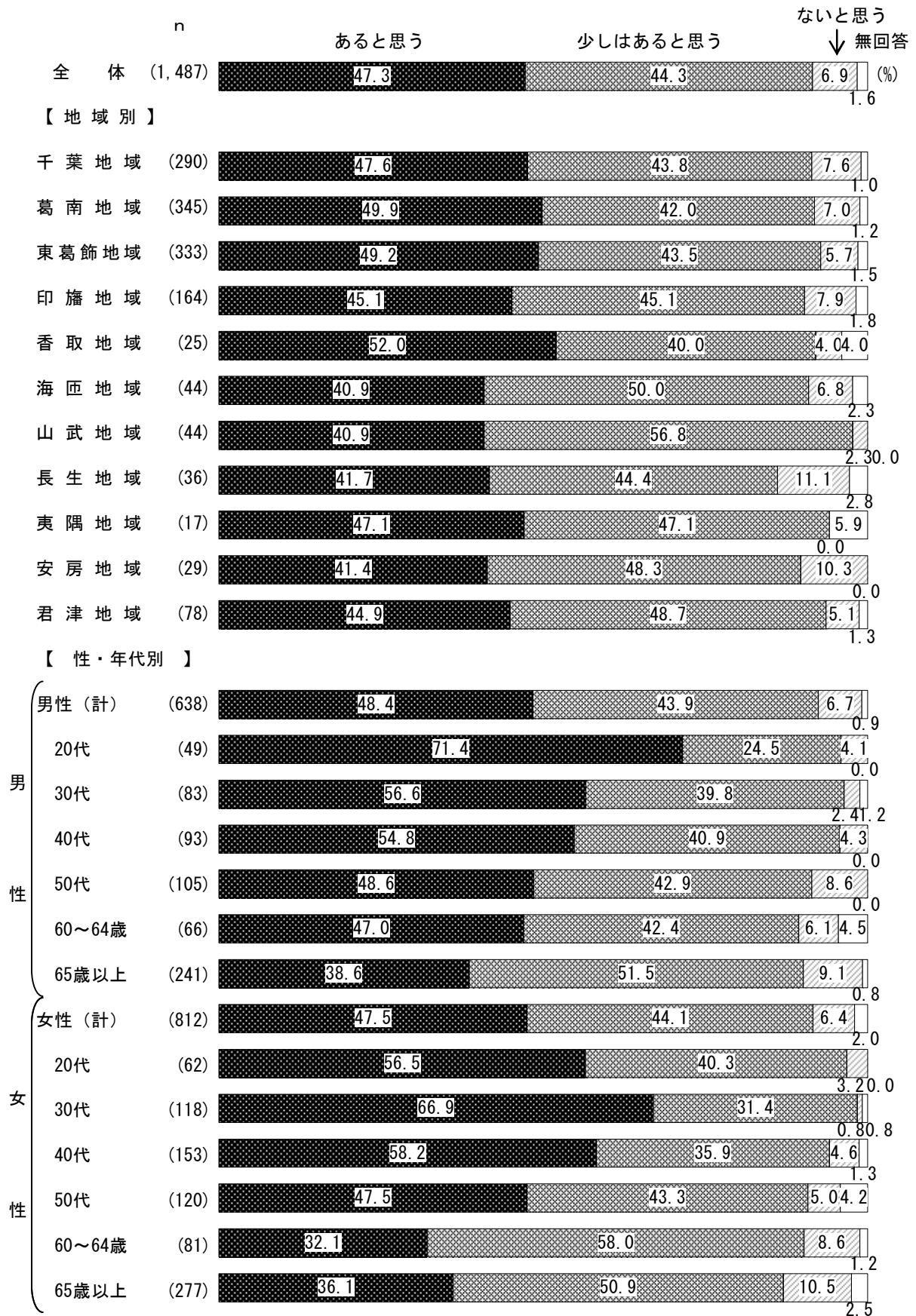
【地域別】

地域別にみると、「あると思う」は“香取地域”(52.0%)が5割を超えており、「少しはあると思う」では“山武地域”(56.8%)が5割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。(図表4-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「あると思う」はおおむね若い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、特に男性の20代(71.4%)が7割を超え他の年代に比べ高くなっている。(図表4-8)

<図表4-8>障害を理由とする差別や偏見の有無／地域別、性・年代別

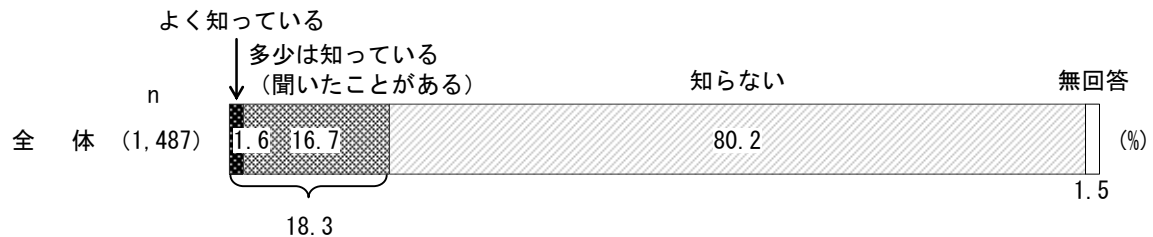


(5) 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知度

◇『知っている』が約2割

問 15 あなたは、障害のある人の差別に関する全国初の条例である「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が千葉県にあることを知っていますか。(○は1つ)

<図表4-9> 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知度



障害のある人の差別に関する全国初の条例である「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が千葉県にあることを知っているか聞いたところ、「よく知っている」(1.6%)、「多少は知っている(聞いたことがある)」(16.7%)を合わせた『知っている』(18.3%)は、約2割となっている。一方、「知らない」(80.2%)は8割となっている。(図表4-9)

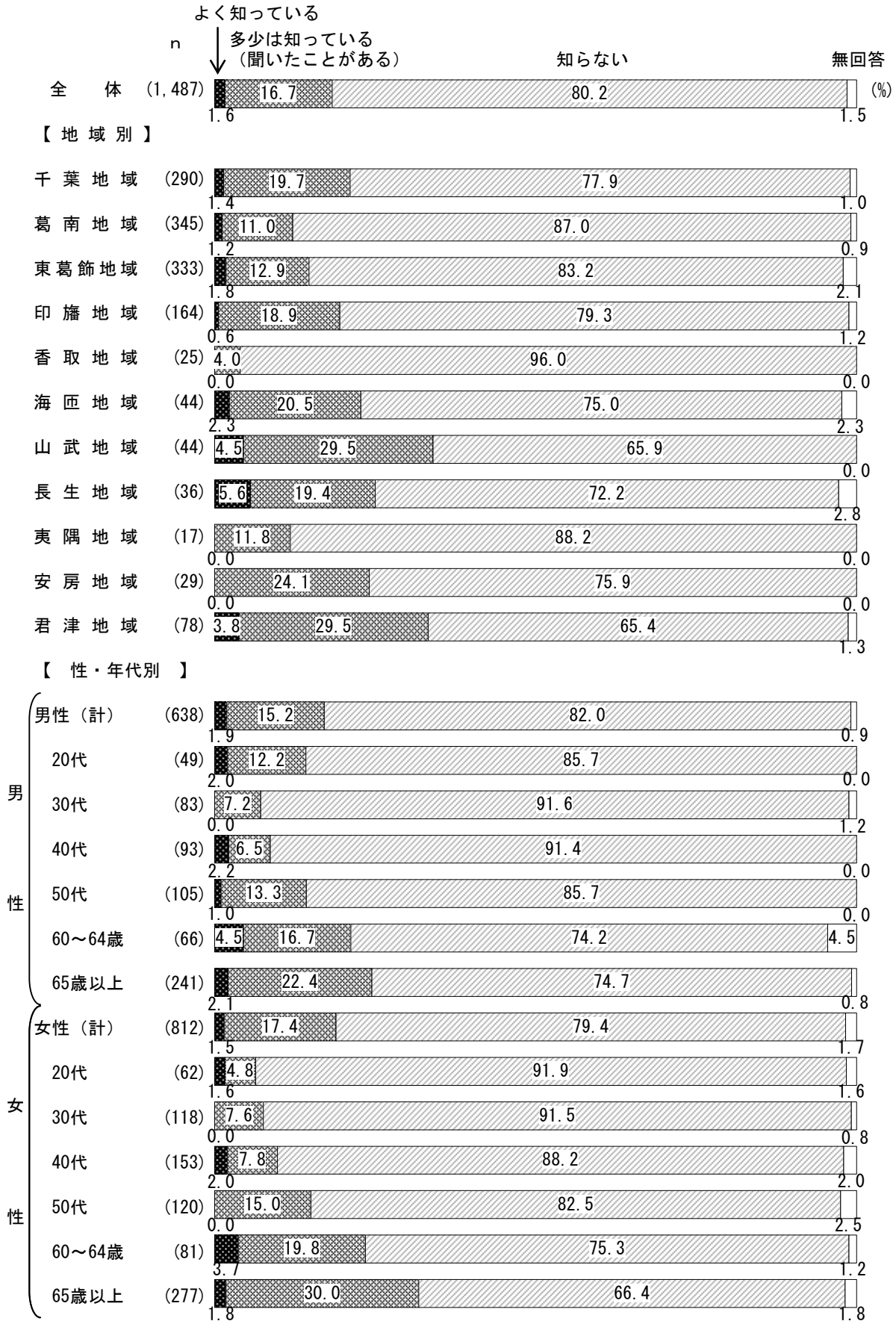
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“山武地域”(34.1%)、“君津地域”(33.3%)が3割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。(図表4-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(31.8%)が3割を超え他の年代に比べ高くなっている。(図表4-10)

<図表4-10>「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知度／地域別、性・年代別



このほかに、「障害者施策について」やここまでの質問（問11～問15）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、165人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「障害者施策について」の自由回答（抜粋）

- 障害者への手助けができればと思いますが、何から始めて良いのか分かりません。
(女性・65歳以上・東葛飾地域)
- 人材の確保等、問題点はたくさんあるが学校を卒業後に入所できる施設がもう少し増えることを期待します。障害のある人も自立心を育てるという面では、親元を離れて生活を送るということも重要だと思う。(女性・20代・東葛飾地域)
- 知的障害者団体のボランティアをしていますが、生産性・効率が求められる仕事にはついていけないが、ほとんど職場がない。自立は難しいです。支援金は出ても、社会と関わりをもって生きたいという願いは強い。公営の知的障害者のレストラン、カフェを作って、働く場を作って欲しい。(女性・65歳以上・葛南地域)
- 障害者の自立を目指す取り組みの強化（職業訓練等の施設を増やすなど）。障害者を持つ家族の不安などを和らげる事も大切だと思う。(女性・30代・長生地域)
- 昔と違い、障害の人も社会参加している。よいことと思う。どんどん参加できるように、充実した施設にしてほしい。(女性・65歳以上・印旛地域)
- 障害者の学校や施設等が少なすぎる。無駄な公共事業を減らし、もっと障害者や高齢者に協力するべきである。(男性・30代・海匝地域)
- 障害者の方を支援されている方々の賃金や職場環境がもっと良くなることで、全体の雇用や支援の拡大につながってほしいと思います。(女性・20代・千葉地域)
- 障害児を家族にもつ当事者です。特別支援学校の環境整備、支援学級に対する人的支援の強化などの遅れを強く感じます。又、障害者の雇用の促進もなかなか進展しません。全国初の条例をもつ県として、障害福祉を、全国に先駆けて推進していただきたく、具体的な施策を期待します。
(女性・40代・東葛飾地域)
- 障害者が特別扱いされず、健常者と同様な生活・対応をされる様な社会を望む。心の問題と思う。
(男性・65歳以上・千葉地域)
- 障害者施策の重要性は理解できるが、孫やひ孫世代に、多額の借金を背負わせていることとの、バランスを考える必要がある。
(男性・65歳以上・千葉地域)